
道の途中

あると

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

道の途中

【Nコード】

N2470Z

【作者名】

あると

【あらすじ】

芯の強い子の話はよくあると思いますが、この話はその逆、芯のあまりない女の子の話です。けど結構こういう子は多いのでは・・・と考えています・・・。

自分の芯がないからこそ、自分のしたいことがはっきり見つからないからこそその苦悩や思い。

なんていう人間の深いところか書けたらいいな、と思っています。

更新はスローペースです。

はつきり言います。面白くない可能性大です。

(これは『学園』でいいのだろうか・・・)

関西弁

・・・できるわけない。怖いから。他の人と違っていてことがどうしても怖くて怖くて。

なんでみんなはそうやって自分を出せる？
他人と違うことを恐れず進める？

それともこれは私の周りだけ？ 私が思うだけ？ 私の性格のせい？ 私が臆病なだけ？

私には・・・わからない

入学式

あたしは今日、中学生になった。

入学式の会場である体育館前に貼られたクラス分けの紙。

『34 北川 望未』

あたしの名前が書いてあるのは、1年1組。

「望未いいいいっ！……！」

「詩織……！」

浅口詩織。あたしと同じ小学校で、家も近いからよく一緒に遊ぶ仲のいい友達。

好きな人ができたときも、楽しいことも、どうでもいいことも、ずっと1番に詩織に話してきた。

「同じクラスやなっ!!」

詩織の指差す先にある詩織の名前。

『31 浅口 詩織』

「ほんまやん!! 嬉しいなあ! もう仲いい子おらんかったらど
うしよ思たあ」

「ほんま詩織もやでっ 望末同じクラスでよかった!!! これか
らもよろしくなっ」

「こちらこそ」

今までもこれからも。

ずっとずっとよろしく。

いつまでも仲良くしてね。

あたしの一番は詩織やから。

そう思ってた。

あの子に、会うまでは。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2470z/>

道の途中

2011年12月25日21時48分発行